

令和4年度 仙台市立馬場小学校 学校評価報告

2023. 2. 14

1 アンケート期間 令和4年12月5日～12月19日

2 アンケート対象 地域・学校鶴運営協議会委員，保護者，児童，教職員

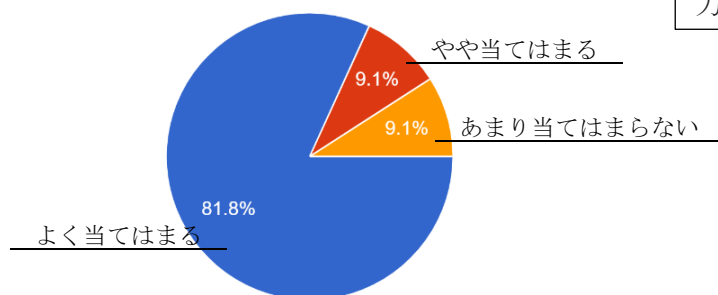
回答数 地域17名（23名中：74％） 保護者11名（13名中：85％）

児童18名（18名中：100％） 教職員13名（13名中：100％）

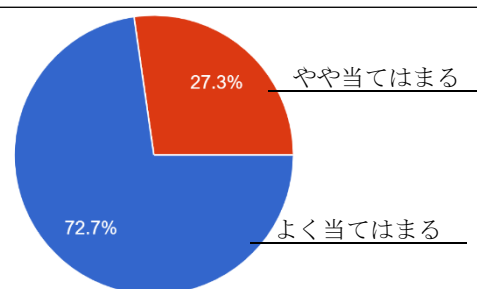
3 結果

(1) 学校運営について（保護者のみ）

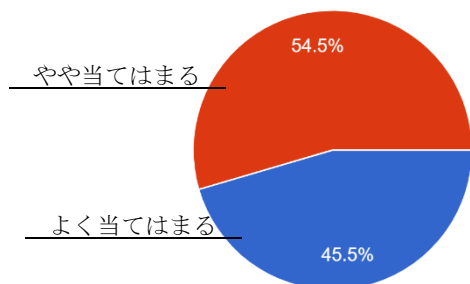
1 学校は，道徳教育や自分づくり教育，一人一人を大切にした学級づくり，防災教育を通して，命と心を守り育む教育を推進している。



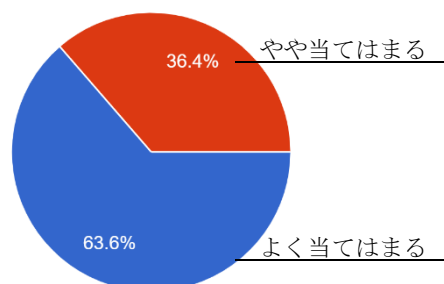
2 学校は，挨拶の啓発，異学年交流や縦割り活動，人とかかわりや体験活動を重視した学習，学習における言語活動の充実を通して，かかわる力を育成している。



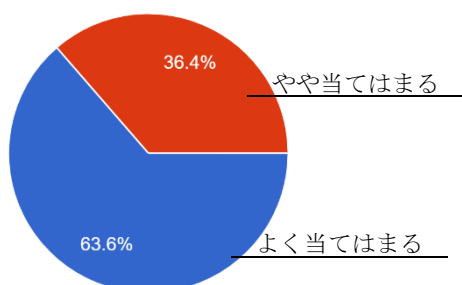
3 学校は，基本的学習態度・習慣の定着，学習経過に即した教室環境の整備，学習意欲や向上心を高める学習の工夫を展開して，学ぶ力の基盤づくりを推進している。



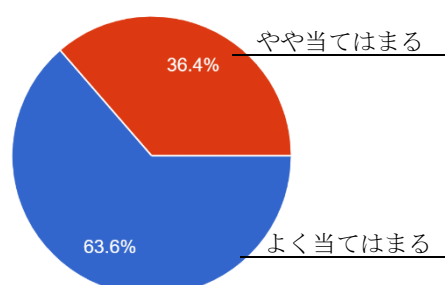
4 学校は，少人数を生かした授業，地域素材・人材を活用した授業を展開して，基礎学力の定着に取り組んでいる。



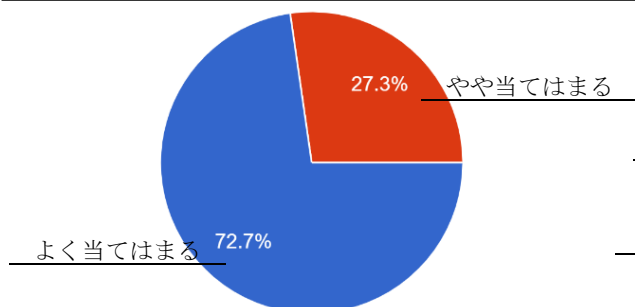
5 学校は，図書室の積極的な活用，読み聞かせの推進，ノーメディア読書デーの呼びかけなどを通して，読書好きな子供を育成している。



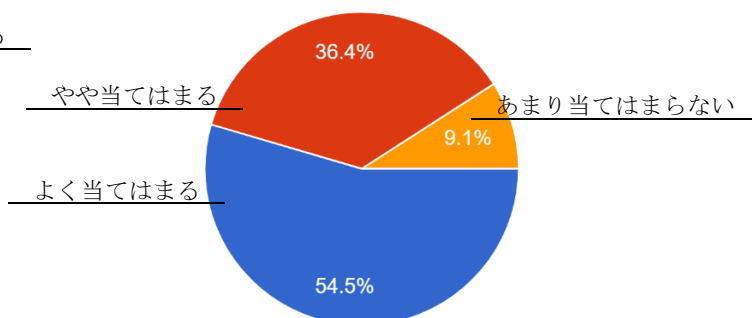
6 学校は，外遊びの奨励と業間運動の取組，体育の授業の工夫などを通して，子供たちが自主的に運動を行える環境整備を展開して，体力づくりを推進している。



7 学校は、養護教諭や栄養士と連携した教育活動の展開、「がんばりカード」の活用を通して、健康教育や食育を推進している。



8 学校は、目標を少しずつ解決していく継続的な取組（学習カードの活用等）や、努力を認め、励ます教育活動を展開することで、粘り強く取り組む態度を育成している。



＜アンケート結果より＞

全て「よく当てはまる」「やや当てはまる」を合わせて90%以上でした。特に、「命と心を守り育む教育の推進」では、「よく当てはまる」が約80%と高評価をいただきました。保護者の皆様から、当校の教育活動について肯定的に評価していただいていると考えます。

これからも少人数という当校の特色を生かしつつ、一人一人が充実した学校生活を送ることができるよう、教育活動の工夫を行ってまいります。

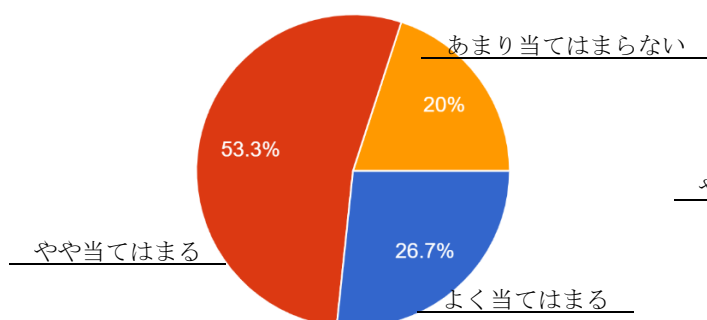
(2) 協働型学校評価重点目標について

—協働型学校評価重点目標—

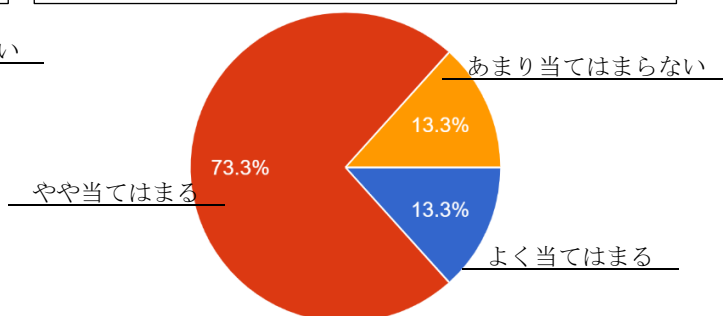
「思いや考えを伝えることができる子供の育成」「進んで読書に親しむ子供の育成」

① 保護者

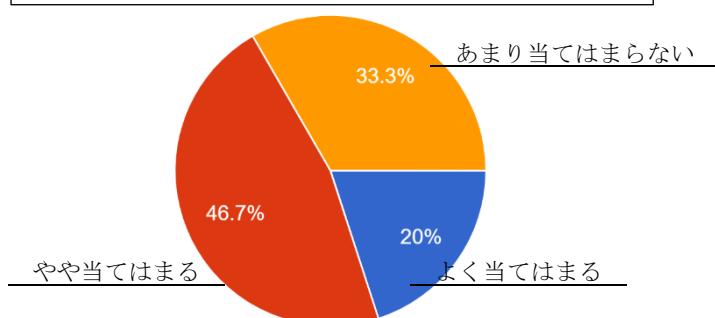
9 お子さんは、家庭や地域で、自分の思いや考えを相手にしっかりと伝えている。



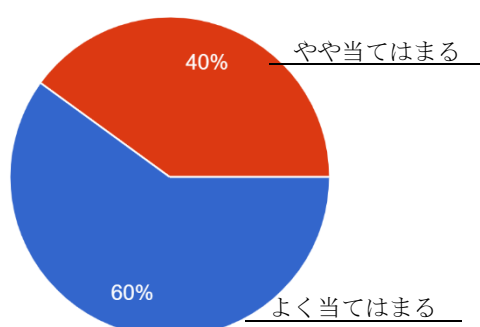
10 お子さんは、家庭や地域で、誰にでも、自分から挨拶をしている。



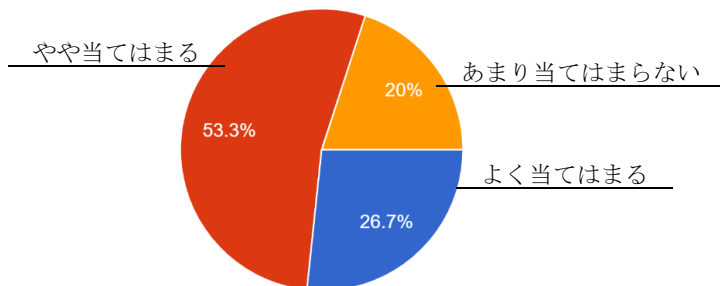
11 お子さんは、ノーメディア読書デー（毎週木曜）を中心に進んで読書に取り組んでいる。



12 ご家庭では、お子さんと、挨拶や会話をするなど意識的にかかわりを持っている。

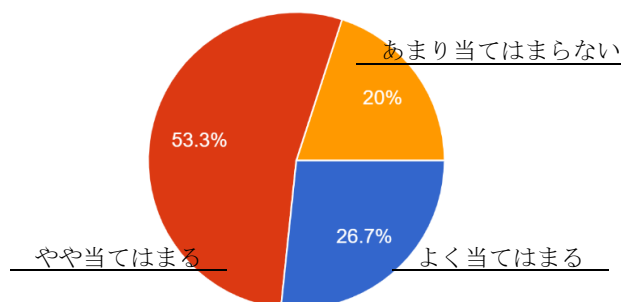


13 ご家庭では、ノーメディア読書デー（毎週木曜）を中心に、お子さんに読書の声掛けを行ったり、家族で読書をしたり、本のお話をしたりする機会を設けている。

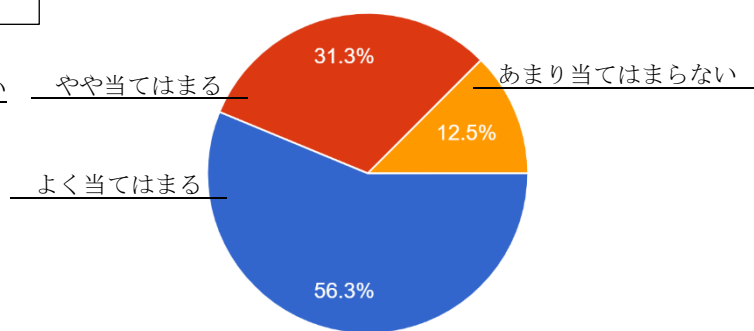


② 地域・学校運営協議会委員

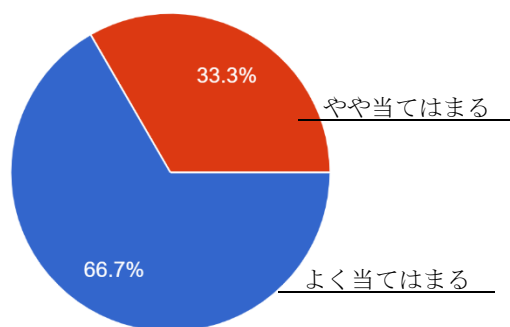
1 子供たちは、地域の行事やかかわりの中で、自分の思いや考えを相手にしっかり伝えている。



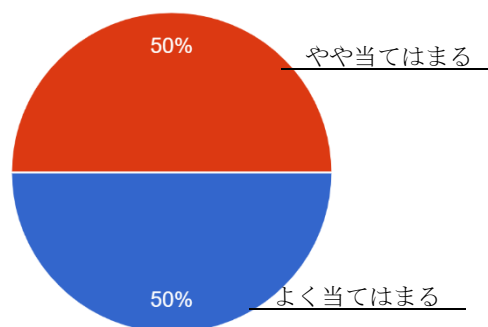
2 子供たちは、地域の行事やかかわりの中で、誰にでも、自分から挨拶をしている。



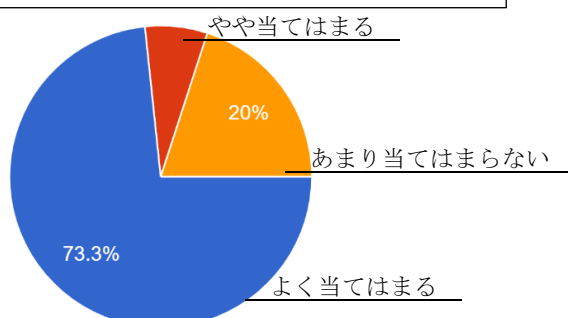
3 地域では、子供たちに積極的に挨拶や声掛けをしている。



4 地域では、地域に伝わる行事等を通して、子供たちと積極的に関わっている。※新型コロナウイルス関連の影響から、もしなければ無回答でお願いします。

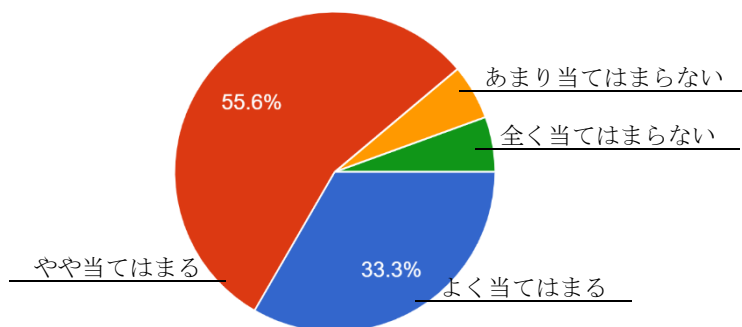


5 地域では、読み聞かせや学習ボランティア（そば、米づくり、その他）などで、教育活動に協力している。

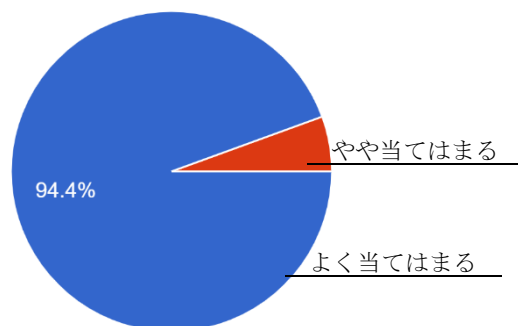


③ 児童

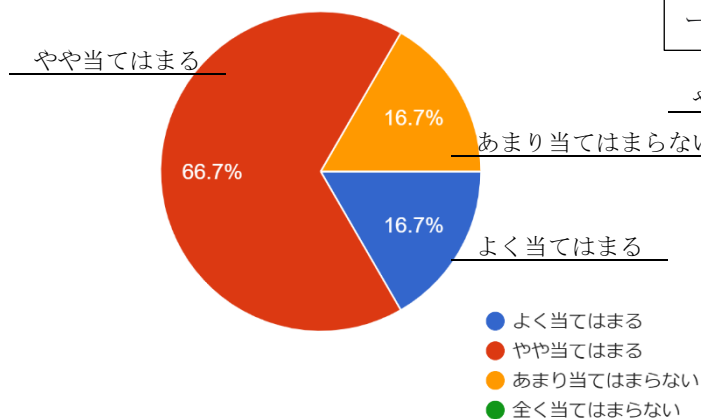
1 授業や 生活の中で、自分の思いや、考えをしっかりと相手＜先生、友達、学校・学級のみんな＞に伝えている。



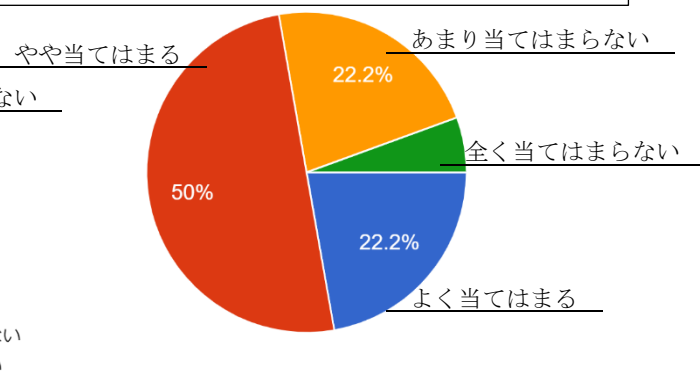
2 学校生活や地域の中で、だれにでも、自分から進んで、あいさつしている。



3 進んで読書をしている。

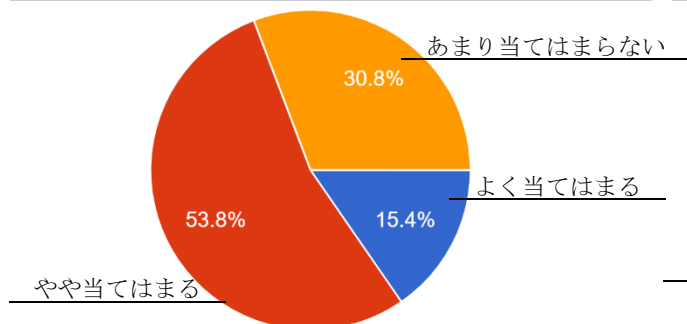


4 ノーメディア読書デーの日は、テレビやゲームなどをせずに、読書をしている。

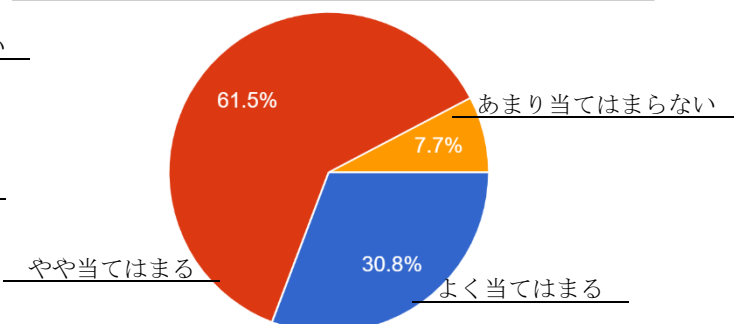


④ 教職員

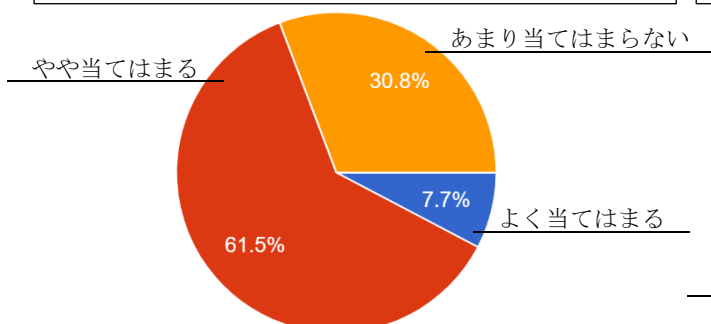
1 子供たちは、学習や学校生活の中で、自分の思いや考えを相手にしっかりと伝えている。



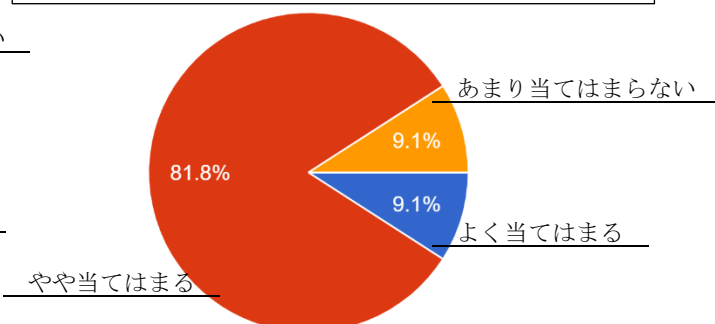
2 子供たちは、学校生活や地域の中で、誰にでも、自分から挨拶をしている。



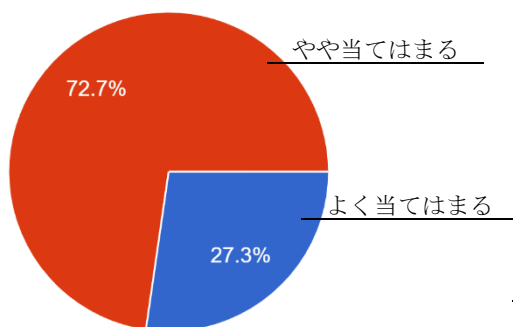
3 子供たちは、ノーメディア読書デー（毎週木曜）を中心に、進んで読書に取り組んでいる。



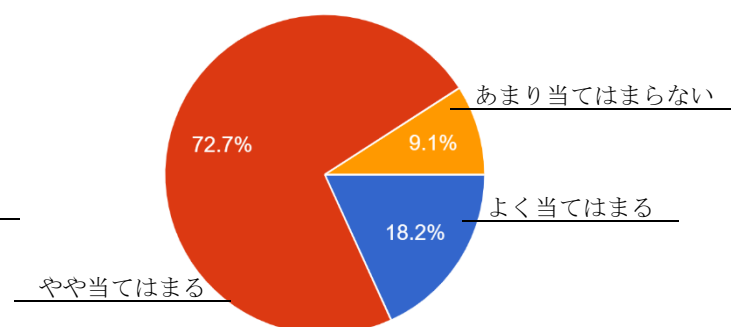
4 教員は、理解し、考えをまとめる力を育成する授業づくりや支援を行っている。



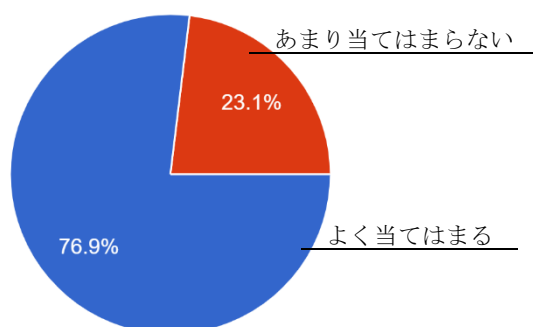
5 教員は、相手意識を持って伝える力を育成する授業づくりや支援を行っている。



6 教員は、書く力・かかわる力を育成する授業づくりや支援を行っている。



7 教員は、子供たちや保護者、地域の方々に、自分から挨拶をしている。



<アンケート結果より>

思いや考えを伝える

「自分の思いや考えを相手にしっかり伝えている」「誰にでも自分から挨拶をしている」の項目では、「よく当てはまる」「やや当てはまる」を合わせて、保護者や地域の方々、児童の3者において約80%以上でした。しかし、教職員は約70%と10ポイント低い評価でした。特に、「誰にでも自分から挨拶をしている」については「よく当てはまる」は、地域の方々と児童が、50%以上の回答率となっています。このことから、「自分の思いや考えをしっかりと伝える」ことは、教職員が学校生活を通して見る姿からは、不十分な面もあるという認識であり、「誰にでも自分から挨拶をすることができている」と思う児童が多いものの、周りの方々にはあまり伝わっていないと考えます。

学校では、周りの人々に、どんな場面でも思いや考えをしっかりと伝えることができるよう、自分の思いや考えを持ち、それを相手に伝えるスキルの向上を図る指導や、様々な場面での発表の機会を増やすなどの工夫を行い、相手に伝えることへの自信を持たせるために個に応じた支援を行ってまいります。また、挨拶に関しては、教職員から挨拶の声掛けを続ける、良い挨拶をしたら褒める、理想の挨拶の形を示すなどの働き掛けを行い、教育活動全体を通して指導してまいります。保護者や地域の皆様におかれましても、挨拶の奨励や励ましをよろしくお願いいたします。

進んで読書に親しむ

「ノーメディア読書DAYでの読書」「進んで読書している」の項目に関して、児童は「よく当てはまる」「やや当てはまる」を合わせて80%以上ですが、保護者と教職員では約70%でした。このことから、ノーメディア読書DAYを中心に、読書とメディアコントロールについては、児童を取り巻く大人は、読書に費やす量や時間については不十分であるとの認識だと考えられます。

学校では、読書に関する目標の設定、本の紹介など、児童が読書をしたくなるような設定の工夫や

環境作り、ノーメディア読書DAYの次の日の振り返りなどの指導を行うとともに、引き続きノーメディア読書DAYを推進し、児童に読書を奨励してまいりますので、ご家庭でもお子さんに読書の声掛けや励まし、家族で読書をしたり本のお話をしたりする機会を意識的に設けるなどしていただけたらと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。

(3) 自由記述について

保護者様から

- ・ 6について、体育館も中休みや昼休みなどに自由に遊べると良いと思う。外遊びと中遊びはそれぞれに良さがあると思う。
- ・ 少数の子は進んで挨拶をしてくれますが、その他の子はなかなか難しいようです。これからも頑張ってもらいたいです。

<学校から>

- ・ 安全を確保しながら、思いっきり体を動かしたり遊んだりして、その楽しさを味わうことや身体的調整力（巧緻性）を身に付けることは大変重要です。その中で培われる人間関係も大切だと考えます。業間運動（ランニング・縄跳び）での体力の向上と、自由遊びを今後も奨励するとともに、けがの予防の知識や危険を予測する力も身に付けられるよう声掛けしてまいります。
- ・ 「いつでも」「どこでも」「誰にでも」進んで気持ちの良い挨拶ができるよう、学校・家庭・地域で子供たちを見守り、働きかけて行きたいと思っています。

地域・学校運営協議会委員の皆様から

- ・ 少人数の学校ですのでコロナに打ち勝てるように冬スポーツを楽しんで欲しいとおもう。我が家の孫達はスポーツは苦手のようなので心からおもう…………
- ・ なかなか子供たちと接する機会が少なく残念です。早くコロナが落ち着き以前のような生活が戻ることを願うばかりです。
- ・ 当校においては、学習を含め総体的に個々の児童に寄り添い、教育体制を実行しているのが誇らしいです。学年の子供数が少ない事で、子供一人一人に対する先生方がかかわる時間が多くとれるはずなので、その強みを生かした教育が出来る事が望ましいと考えます。
- ・ 今まであまり学校や子供たちにかかわらなかったのも意見等はありません。ただ、加沢農村公園に遊びに来ている子供たちには声掛けしてはおります。親達の交流もできているように見受けられました。語り等学校での時間があれば協力したいと思います。
- ・ 環境保全米やそばなど、地域の教育資源を生かした魅力ある取組をされていると思います。アンケート項目の中では、先日立ち寄らせていただいた際、昇降口周辺にいた子供たちが皆、大きな声で挨拶をしてくれたことが印象に残っています。
- ・ 少人数なので、大人数の中に入るとコミュニケーションがうまくとれない子がいる様に思います。それは、家庭の問題でもありますが、とってもいい子供たちばかりなので、もっと自信をつけるといえるのか、楽しんで活動出来るようになればいいと思います。
- ・ 地域の実情にあわせていろいろな活動を行っているのも、大変よいと思います。
- ・ 学校内ではよく挨拶するが、通学中は消極的である。（恥ずかしいのか？）
- ・ 学芸会では太鼓など伝統文化を大切にすると、英語劇のようにチャレンジするところなど、子供の良さを引き出しながら地域と共に歩んでいる姿を拝見しました。素晴らしいことだと思います。生活科交流では、1年生が立派に会をリードし、園児の行動に賞賛や励ましの言葉をたくさんもらいました。きっと入学を楽しみにしていると思います。ありがとうございました。

- ・ 今年度は「合同防災訓練」で5・6年生の児童と一緒に活動しました。グループワークの様子を見学しましたが、児童の皆さんは地域の大人がいる中でも積極的に発言していました。挨拶もきちんと出来ていて頼しく見ていました。参加された地域の方からも、地域住民と児童と一緒に学べる場として「合同防災訓練」には高い評価をいただきました。今後も馬場小学校・秋保市民センターで連携し事業を行いたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
- ・ 学習ボランティアに、野菜作りも追加して協力いただければ幸いです。（例）種まき、収穫(野尻地区)いつも大変お世話になっております。有難うございます。
- ・ コロナ禍で子供たちの行事等にかかわることが少なく残念です。しかし、運動会では少ない児童数ではありますが、縦割りで協力したり個々が張り切ったり頼もしく感じました。挨拶に関しては以前学校の方針で「子供たちから挨拶を」ということで、あえて大人から言うのではなく子供が挨拶をしたらこちらがするようにとのことでした。登校の際は皆元気よくしてくれますが、学校を離れると、お友達と一緒にいないと恥ずかしいのか自分から進んでの挨拶はなかなか言えていないように思えます。
- ・ 民生委員の地域福祉活動の一環として月2回、朝の挨拶運動をしています。子供たちの元気な様子を見ると、学校生活を楽しく過ごしているのが分かります。コロナ禍の中でも、馬場小タイムスに学校での子供たちの学習活動が分かります。先生方は学び合いが出来るように工夫して、子供たちに指導しているので安心していきます。子供は地域の宝です。これからも子供たちを陰ながら見守っていききたいと思います。

<学校から>

いつも温かい目で見守っていただくとともに、本校の教育活動への御理解と御協力に感謝申し上げます。挨拶に関しては、学校として、今年度も重点的に取り組んでいる事項の一つでもあります。一人一人自信を持って挨拶できるように、自己肯定感や自己有用感を高める指導に一層心掛けてまいります。

教職員：

- ・ 人数が少ないことを活かして、相手のことを思いやる気持ちや、素直な面を引き出されていると思います。